

市交際費の支出状況



令和 7年 3 月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分	2	37,000
	累計	60	220,980
見舞い	今月分	0	0
	累計	1	10,000
御 祝	今月分	1	10,000
	累計	34	188,000
賛 助	今月分	0	0
	累計	3	18,300
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	1	560
	累計	52	174,220
会 費	今月分	1	5,000
	累計	37	195,420
その他	今月分	0	0
	累計	1	4,100
合 計	今月分	5	52,560
	累計	188	811,020

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

「憲法記念日に想うこと」
5月3日は憲法記念日です。憲法は、私たち国民には価値があり、だれもが大切であること、個人の権利や自由を守るために作られました。私たちが持つている権利や自由は、決して最初から存在していたわけではなく、多々の人々の熱意と努力、そして深い想いが込められています。憲法制定に深く関わった人物で、私が思い浮かべるのは、白洲次郎さんです。彼は、日本国憲法に、個人の自由と権利を尊重することを重視しました。彼に関する著書の中で「憲法は、理想を掲げるだけでなく、現実的な問題解決の手段となるべきだ」と述べてい

tomoni ikiru

ます。彼は日本が自主的に憲法を制定することの重要性を説き、日本の主権を守るために尽力しました。そして、もう一人、ベアテ・シロタ・ゴードンさんです。彼女はその当時、日本女性の権利が低いことを理解していたことから、憲法に女性の権利を明記することを強く推進しました。特に、第24条に定められた「家族における個人の尊重と両性の平等」は、彼女の強い意志と情熱がなければ、今の日本の女性の権利は大きく異なっていたかもしれません。

憲法記念日は、私たち自身の権利と自由を再確認する日でもあります。憲法が正しく理解されているか、権利と自由を守られているかを考えてみませんか。権利と自由が維持できるように、私たちの努力も必要です。

社会教育指導員

宮下

Message for citizen



市長コラム



四月の多久聖廟の春季釈菜も快晴と桜と新緑に恵まれ、無事に挙行できました。市長就任以来、春と秋の釈菜前の日曜朝には聖廟清掃を行ってきました。また毎月第三日曜の朝には市内のゴミ拾い清掃活動を、多久市そうじの会有志メンバーと一緒に続けてきています。そんな活動の発端は鍵山秀三郎さんとの御縁からです。そもそもは松下政経塾の後輩指導の際に「掃除にこだわる経営者」としてお目にかかりました。謙虚誠実な人柄が印象的でした。掃除道といえる徹底ぶり、優れた経営を実践され、日本を美しくする会を創始された人物です。若い頃に「難難辛辛を経験され、ご自分なりの仕事に携わられたものの、心が荒む業界慣習や就職先の実情に危機感を覚え、理想の会社をつくりたいと願われご自分で起業されました。一緒に働く人の心が柔和で前

そうじで人生を開いた先人

市長 横尾 俊彦

4月21日記

向きになり、お客様に感謝してもらえぬ経営を願われ、そのために努められたのが掃除です。とはいえ社員に強制はあえて行わず、黙々と実践を続けられたのでした。這いつくばって玄関床を拭いているとそこを飛び越えるように社員が通ったそうです。でも叱りも怒りもせず、黙々と努められました。10年で理解者協力が現れ、20年で全社員の掃除となったのです。誰でもできる平凡な事を非凡に積み上げる。掃除はその実践道場でした。次第に温かく優しい社風となつて社業も発展。社名をイエローハットと改め、更に努められました。「何事も成功のコツはコツコツですよ」と説かれました。そんな鍵山さんが逝去され、お別れの会に出席し、ご子息ともお会いできました。人材育成や凡事徹底の大切さに改めて深く感銘しています。